

◆◆ 会議録 ◆◆

会議名	令和7年度阿南市総合計画審議会		
開催年月日	令和7年9月29日(月)	資料の有無	無・(有) →別紙
会場	阿南市役所6階 602・603・604会議室		
出席者	<p>【委員】 青木委員、大和田委員、小笠原委員、金井委員、兼松委員、紅露委員、坂本委員、下川委員、鈴江委員、田中委員、中川委員、中野委員、新居委員、原田委員、宮崎委員、宮田委員、撫養委員、八原委員、米田委員、片山委員、前川委員 計21人</p> <p>【市】 岩佐市長、西田副市長、平井副市長、坂本教育長、東條政策監、篠原政策監、幸泉企画部長、荒井総務部長、川端危機管理部長、山下市民部長、湯浅環境管理部長、高山保健福祉部長、中橋産業部長、藤本建設部長、吉岡都市整備部長、東会計管理者、松原水道部長、安富教育部長、小西消防長、田上議事課長(議会事務局) 計20人</p> <p>【事務局】 七條企画政策課長、遠藤主査、北岡主査、西田主事</p>		
内 容			
(13:30 開会)			
<p>【七條企画政策課長】</p> <p>定刻がまいりましたので、ただ今より、令和7年度阿南市総合計画審議会を始めさせていただきます。委員の皆様におかれましては、お忙しいところ御参集いただきまして誠にありがとうございます。会長が選任されるまで司会を務めさせていただきます、企画政策課の七條と言います。よろしくお願いいたします。この後は着座で失礼いたします。</p> <p>本審議会は、市政運営の基本指針となる総合計画の作成及び実施に関して、重要事項を調査審議するため設置されております。</p> <p>昨年度、2021年から8年間の総合計画の中間見直しを行い、新たに「阿南市総合計画2025▶2028」を策定しました。見直しにあたっては、地方創生の取組と一体的に推進していくために、「まち・ひと・しごと創生法」に規定する「市町村まち・ひと・しごと創生総合戦略」としても位置付け、地方創生の取組と一体的に推進しております。昨年度は、新しい総合計画を策定するため、計3回の審議会を開催させていただきましたが、今年度の審議会は、今回1回の開催の予定としておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>なお、委嘱状の交付につきましては、皆様のお手元へ配付する形での交付とさせていただきます、委員の皆様の御紹介につきましても、資料1の名簿に掲載している内容をもって代えさせていただきますので御了承願いたいと思います。</p> <p>委員の皆様からは、議題4が終了後、全員の方から御意見をいただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>また、本会議は阿南市総合計画審議会設置条例第5条第4項の規定により公開することとなっております。それと会議録作成のため、議事進行中は録音をさせていただきます、会議録はホームページに掲載させていただきますので御了承願います。</p> <p>本日は、田上委員さん、手束委員さん、西岡委員さん、松崎委員さんから欠席の御連絡をいただいております。同条例第5条第2項の規定によりまして、会議は有効に成立しているこ</p>			

とを御報告申し上げます。

それでは本審議会の開催にあたりまして、岩佐市長より御挨拶を申し上げます。

#### 【岩佐市長】

お世話になっております。市長の岩佐でございます。

皆様におかれましては、公私大変お忙しい中にもかかわらず、総合計画審議会委員へ御就任をお引き受けいただきまして誠にありがとうございます。また、総合計画見直し後の初の審議会に、本日、このように大勢の皆様にお集まりをいただきましたこと、重ねてお礼を申し上げます。

御承知のとおり、人口減少・少子高齢化の加速や、気候変動に伴う豪雨災害の頻発・激甚化、切迫しております南海トラフ巨大地震、更には歴史的な物価高騰など、日本全体がそうありますが、本市におきましても、取り巻く環境が大きく変化をしてきております。こうした厳しい状況にあっても、複雑化また多様化する地域課題や市民のニーズに的確に対応していくために、新たな総合計画では2028年の都市像を「輝く個性を育む 自然と調和した産業都市阿南」と定め、その実現を目指し、地方創生の理念を取り入れた新たな6つの基本政策を実現すべく、基本計画及び実施計画に掲げる各種施策を実行、実施しているところでございます。

また、この総合計画を確実に推進していくためには、「人材」、「物的資源」、「財源」、「情報」といった限りある経営資源を効果的に配分し、政策の実行性を高めていくことが不可欠でありますことから、本年3月、総合計画の新たな推進エンジンとして、将来にわたって市民の期待に応える行財政運営を実現することを目的としました「阿南市『新行財政改革』推進プラン2025▶2028」を策定し、令和7年度を「阿南市総合計画」と「新改革プラン」の一体的推進元年として位置付けておりまして、市民や企業・団体の皆様にもお力添えをいただきながら、全庁一丸となって人口減少社会という大きな課題に立ち向い、持続可能な阿南市の創生に現在取り組んでおります。

本日は限られた時間の中ではございますが、将来の阿南市のために、そして市民の皆さんの幸せを一つ一つ形にしていくために、委員の皆様方の忌憚のない御意見をお聞かせをいただきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

#### 【七條企画政策課長】

では、議題に入る前に本日の資料の確認をさせていただきます。資料につきましては、先日郵送等でお送りさせていただいております、会議次第と、資料1から資料8までとなっております。不備、不足はございませんでしょうか。

なお、資料7は、先ほど市長の挨拶で申し上げました本年3月に策定しました「阿南市『新行財政改革』推進プラン2025▶2028」です。資料8につきましては、広報あなん8月号等でもお知らせさせていただいております、阿南市基金運用に関する第三者調査委員会に関する資料となっております。この資料7及び資料8は、市政運営上重要なものでありますので、今回参考資料として添付させていただきました。御確認のほどよろしく願いいたします。

それでは議題1、会長の選任に移りたいと思います。

会長につきましては、阿南市総合計画審議会設置条例の第4条第1項の規定によりまして、委員の互選により選任していただくこととなっておりますが、事務局から御提案させていただいてもよろしいでしょうか。事務局案としまして、阿南工業高等専門学校長の大和田委員さんをお願いしたいと考えております。御承認いただけますでしょうか。

【委員】

異議なし。

【七條企画政策課長】

ありがとうございます。異議なしとのことですので、大和田委員さんは御承諾いただけますでしょうか。

【大和田委員】

私であれば、お受けしたいと思います。

【七條企画政策課長】

ありがとうございます。それでは、大和田委員に会長をお願いしたいと思います。大和田会長さん、申し訳ございませんが、会長席に御移動ください。

続きまして、職務代理者の選任に移りたいと思います。

同条例第4条第3項の規定によりまして、職務代理者は会長が指名することとなっておりますので、大和田会長から御指名をいただきたいと思います。

【大和田会長】

改めまして皆さん、こんにちは。先ほど皆さんの方から御承認をいただきまして、本会の会長を務めさせていただくことになりました阿南工業高等専門学校の大和田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

職務代理者は私からの指名ということですので、大正大学地域構想研究所・阿南支局長の鈴江委員をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

【七條企画政策課長】

ただいま大和田会長から職務代理者は鈴江委員にとの御指名がございましたが、鈴江委員は御承諾いただけますでしょうか。

【鈴江委員】

はい。会長さんから御指名いただきましたので、お受けさせていただきます。どうかよろしくお願いいたします。

【七條企画政策課長】

ありがとうございます。それでは職務代理者は鈴江委員さんをお願いいたします。それでは、ここからの議事進行は大和田会長をお願いしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【大和田会長】

はい。それでは会議を進めてまいりたいと思います。議題2「令和6年度実績・評価について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

【事務局】

はい、企画政策課、遠藤と申します。よろしくお願ひいたします。座って失礼いたします。

それでは令和 6 年度実績評価について、資料に沿って説明させていただきます。

最初に資料 3 を御覧ください。基本計画に掲げる基本目標の各成果指標の実績でございます。1 ページを御覧ください。

令和 6 年度進捗状況一覧ということで、基本政策ごとの進捗状況、つまり令和 6 年度終了時点での達成状況の一覧となっております。

基本政策Ⅰ、みんなが健康で自立した生活ができるまちづくりの達成率は 27.3%、概ね達成を含めると 69.7%となっております。

基本政策Ⅱ、安全で安心な暮らしを実感できるまちづくりの達成率は 40.6%、概ね達成を含めると 59.4%でございます。

基本政策Ⅲ、豊かな心と生きる力を育むまちづくりの達成率は 45.8%、概ね達成を含めると 79.2%でございます。

基本政策Ⅳ、地域資源を生かした新たなにぎわいと活力を創出するまちづくりの達成率は 38.2%、概ね達成を含めると 61.8%でございます。

基本政策Ⅴ、自然と調和した快適で暮らしやすいまちづくりの達成率は 37.5%、概ね達成を含めると 62.5%でございます。

基本政策Ⅵ、市民と共に創る持続可能なまちづくりの達成率は 50.0%、概ね達成を含めると 87.5%でございます。

前期計画の進捗・達成状況を検証いたしますと、『阿南市総合計画 2021▶2028』の前期計画期間にあたる、令和 3 年度から 6 年度の 4 年間は、国全体において人口減少・少子高齢化が加速するとともに、新型コロナウイルス感染症の拡大、気候変動に伴う豪雨災害の頻発・激甚化、切迫する南海トラフ巨大地震、更には歴史的な物価高騰など、新たな課題が山積する中、市を挙げて前期計画に基づく基本政策を展開した結果、「概ね達成」の項目を含めると達成率は 68.1%に、「一部達成」の項目も含めると 87.7%に達しており、全体として一定の成果があったものと考えております。今後、前期計画で培った知見や経験をより一層生かすとともに、達成が不十分であった施策については、そこから教訓を見出すことを通じて、中間見直し後の後期計画である『阿南市総合計画 2025▶2028』において、引き続き市の総力を結集して、最大限の効果を生むよう取り組んでまいります。

各指標ごとの詳細につきましては、資料の 2 ページ以降に記載しておりますので、御確認くださいませようお願ひいたします。

資料 3 につきましては、以上でございます。

続きまして、資料 4 を御覧ください。こちらは、第 2 期阿南市まち・ひと・しごと創生総合戦略成果指標の実績でございます。令和 2 年に策定いたしました第 2 期の総合戦略については、令和 2 年度から令和 6 年度までの 5 年間の計画期間が終了となり、今年度からは総合計画を総合戦略としても位置付け、地方創生に取り組んでいるところでございます。

それでは、資料の 6 ページを御覧ください。1 ページから 5 ページにかけて記載しております、基本目標ごとの各項目、達成状況を取りまとめたものが、6 ページ右下の「達成状況（総括）」になります。全体の達成率は、評価対象外のものを除く 48 項目中、22 項目が達成、達成率は 45.8%、「概ね達成」を含めると 75.0%となっております。

総合戦略の達成状況を検証いたしますと、『第 2 期阿南市まち・ひと・しごと創生総合戦略』の計画期間にあたる令和 2 年度から 6 年度の 5 年間は、新型コロナウイルス感染症の拡大、気候変動に伴う豪雨災害の頻発・激甚化、更には歴史的な物価高騰といった多くの課題に直面する中、市民の御理解、御協力のもと、計画に基づく各施策を展開した結果、「概ね達成」の

項目を含めると達成率は75.0%に、「一部達成」の項目も含めると89.6%に達しており、全体として施策の進展があったものと考えております。本市はもとより日本全体において推計人口を上回るスピードで人口減少が加速する状況のもと、本市においては、これまで培ったノウハウや教訓を生かしながら、人口減少や出生減に歯止めをかけるべく、令和7年度から『阿南市総合計画 2025▶2028』と総合戦略とを一体的に推進することとしたところであり、その着実な前進に向け、引き続き全庁を挙げて取り組んでまいります。

以上で資料4の説明を終わります。

議題2「令和6年度実績・評価について」は以上でございます。

#### 【大和田会長】

はい、ありがとうございました。ただいま事務局からの説明がございました。

議題2「令和6年度の実績について」、御意見等はございませんか。発言のある方は挙手をお願いいたします。

では、ないようですので議題2についての審議はこれで終わります。

続きまして、議題3「『阿南市総合計画 2025▶2028』基本計画 重点テーマ・KPI(重要業績評価指標)について」と、議題4「『阿南市総合計画 2025▶2028』実施計画について」を議題といたします。事務局より説明をお願いいたします。

#### 【事務局】

はい、失礼いたします。それでは資料5を御覧ください。

基本計画の基本政策ごとの指標と、今年度の現時点における進捗状況及び担当課の意見を取りまとめたものになります。資料5には重点テーマの記載はしておりませんので、総合計画冊子の180ページからの「重点テーマ・KPI一覧」と併せて御覧いただけたらと思います。

それでは、基本政策1から順に説明をさせていただきますが、お時間の関係もございましたので、市長公約等、特に重要な項目を抜粋し、説明させていただきます。

まず資料の1ページ、基本政策1、「災害に強く安全・安心な阿南」の創生。

「1、防災・消防」の1つ目。指標名が、避難所(体育館)の空調整備率。2028年度の目標値は36%。現在、中野島・大野・宝田・長生小学校の実施設計を行っています。令和8年度は現在設計中の小学校4校の整備予定です。また、引き続き、羽ノ浦・岩脇・平島・今津小学校の実施設計を行い、令和9年度の整備を予定しています。令和15年までに全ての小・中学校への整備を目指しています。担当課は、教育総務課です。

「1、防災・消防」の3つ目。指標名が、個別避難計画の策定割合です。2028年度の目標値は30.0%。国のモデル事業に採択され、新たに法人へ業務委託を行いました。また、本人・家族作成の推進に向け、避難行動要支援者本人へ作成を促す文書を個別郵送する予定です。担当課は、地域共生推進課。

「3、土地利用」。都市機能誘導の方針に基づく誘導施設の建築数(累計)。2028年度の目標値は4件。現在、阿南駅周辺及び中島駅周辺で、図書館等の複合施設を整備計画中です。また、本年度立地適正化計画の見直し作業を実施しています。担当課は、都市政策課。

2ページに移ります。

「6、道路・交通」の3つ目。乗合タクシー及び公共ライドシェア(自家用有償旅客運送)の導入地域数(累計)。2028年度の目標値は3箇所です。新野・大瀧の2箇所において、乗合タクシーの実証運行を実施中です。10月からは岩脇地区において乗合タクシーの実証運行を

実施予定です。担当課は、都市政策課。

4 ページに移らせていただきます。

基本政策2、「地域産業が伸びゆく阿南」の創生。

「1、農業・林業・漁業」の3つ目。農業水利施設(河川樋門・除塵機)の長寿命化対策進捗率。2028年の目標値は100%。計画どおりに進めば令和7年度末に100%達成見込みです。担当課は農地整備課です。

「2、工業」の1つ目。「阿南市工場設置奨励条例」による指定工場の新規件数(年間)。2024年度の実績は6件となっております。担当課は、商工戦略課。

「3、商業」の1つ目。中小企業・小規模事業者の創業及び経営等相談件数(年間)。月に4から5件の相談を受けており、順調に推移しています。担当課は、商工戦略課です。

5 ページに移らせていただきます。

「4、雇用環境」の5つ目になります。関係機関と連携した雇用促進の取組件数(年間)。9月現在、5件実施済みです。担当課は、商工戦略課。

6 ページに移ります。

基本政策3、「こどもまんなか笑顔あふれる阿南」の創生。

「1、出会い・出産支援」の2つ目。妊婦歯科健診受診率。令和7年度からの新規事業で、令和7年4月1日以降の妊娠届出者が対象となっております。妊娠中期に受診を勧めており、市内委託歯科医院にて順次、実施しています。今後も、妊娠届出時等に受診について勧奨し、妊婦及び生まれてくるこどもの健康の保持増進に努めていきます。担当課は、こども支援課。

「3、学校教育」の6つ目。学校グラウンド照明設備更新率。2028年度の目標値は80%。利用者が安全で安心、かつ快適に利用できる環境づくりを推進するために策定した「阿南市立学校グラウンド照明設備LED化計画」に沿って実施しています。LED化を計画しているグラウンドは全部で16施設あり、令和6年度末時点では3施設がLED化されています。令和7年度は2施設、予定しています。担当課は、スポーツ振興課。

同じく「3、学校教育」の7つ目。学校照明設備LED化率。2028年度の目標値は100%。小学校については優先交渉権者が決定し、現在、現地詳細調査中です。12月議会において正式な契約締結を承認していただく予定としております。年明け以降、整備を開始し、来年度夏休み中に整備完了予定です。中学校についても令和8年度に予算要望を行います。担当課は、教育総務課。

7 ページに移ります。

基本政策4、「健康でひとに優しい阿南」の創生。

「1、健康づくり・地域医療」の3つ目。医師確保数。2028年度の目標値は9人。医師不足が深刻化していますが、阿南医療センター、県南4町とともに国、県への要望活動を行うとともに、北里大学北里研究所病院と阿南医療センターとの病院間連携による若手医師の確保に努めていきます。担当課は、保健センター。

「3、障がい者福祉」の4つ目。医療的ケア児の個別避難計画策定割合。2028年度の目標値は100%。個別避難計画の作成を要する医療的ケア児は15人程度と把握しており、現在、そのうち1人について、保健所や地域の消防団等と協働し、実効性の高い計画を作成しています。医療的ケア児は避難行動が困難となる要因が一人一人異なるため、対象者全員の計画を作成するには相当の期間を要することを見込んでおく必要があります。担当課は、地域共生推進課。

8 ページに移ります。

「6-2、男女共同参画」の2つ目。市の附属機関(各種審議会等)における女性委員比率。2028年度の目標値は35.0%。全市を対象に審議会等の女性委員の選任状況の調査を行い、選任時に女性委員を積極的に登用するよう努めています。2025年4月1日現在の女性委員比率は34.0%です。担当課は、人権・男女共同参画課。

9ページに移ります。

基本政策5、「歴史・文化とスポーツでにぎわう阿南」の創生。

「2、生涯学習」の3つ目。理科が好きと思う児童・生徒の割合。2028年度の目標値は50%。市内29の小中学校、125クラスのうち、7月終了までに48クラスの科学センターでのセンター学習を実施しました。現在の「理科が好きと思う児童・生徒の割合」は58.5%となっています。この割合は学年が上がることによって低くなる傾向があるので、今後、中学校の授業が多くなることから、この割合は徐々に下がっていくものと思われます。担当課は、科学センター。

同じく「2、生涯学習」の4つ目。市民一人当たりの貸出数。図書館資料の個人貸出冊数は、昨年度の同時期と比べて、ほぼ同じですが、夏休みはこどもの利用が例年より多く見られました。引き続き、市民に利用されるよう図書館サービスの充実を図ります。担当課は図書館。

10ページに移ります。

「5、観光」の2つ目。スポーツツーリズムの経済効果額(年間)。8月末現在の見込みで、1億2,104万3,000円で、目標値を上回る実績見込みです。ティーボールのアジア大会開催による経済効果額の増加が要因となっています。担当課は野球のまち推進課。

「6、交流」の1つ目。阿南市版ふるさと納税による寄附総額(年間)。寄附金額は、前年比1.33倍で推移しており、目標達成予定です。担当課は、商工戦略課。

11ページに移ります。

基本政策6、「地域の個性ときずなが輝く阿南」の創生。

「1、コミュニティ」の1つ目。「わがまち予算」活用団体数(年間)。令和7年度は、モデル事業を2地区で下半期から実施します。令和8年度以降は、公民館への要望調査を行い、活用団体数を段階的に増やしていきます。担当課は企画政策課。

「2、市民参画」。子ども・若者による地域づくり参画人数。高校生による地域づくりプラットフォームである『KIZUKI部』の令和7年9月時点での登録人数は15人です。今年度は8月に子ども食堂を開催・運営しました。今後、小児病棟への寄附活動をするために、まちマルシェへの出店を企画しています。来年度へ向けても、継続した活動を行っていく予定です。担当課は地域共生推進課。

「4、行財政運営」の5つ目。公共施設の、総延床面積。2028年度の目標値は42万584平方メートル。本市が管理運営する公共施設の保有量を縮減すべく、建物系公共施設の総延床面積を縮減することを目標に、施設所管課と連携し、不要となった公共施設の処分や、複数の施設を集約・複合化して、具体的に取り組んでいます。除却解体したものとして、令和6年度はさくら保育所。今年度取組中のものは阿南図書館があります。また、従前より、公共施設の再編として、阿南中央図書館(仮称)や那賀川町複合施設の事業など、具体的に複数の施設を集約・複合化を進めており、公共施設の総延床面積の縮減に努めています。担当課は、公共施設マネジメント室。

12ページに移ります。

「5、シティプロモーション」の3つ目。市外での物販及び観光PR日数(年間)。4月から市外での物販、観光PRを13日実施しました。5月2日の万博阿波踊り大会、5月24、25日

のまるかじり JAPAN、7月22、23、24日の万博徳島県催事、8月31日の天神天満阿波踊り、9月7日の大阪県人会など、大阪・関西万博期間中の誘客に向けて、万博会場、関西方面でのPR活動を強化しています。担当課は、観光交流課。

以上が、一部抜粋ではございますが、基本計画の進捗状況でございます。

続きまして、資料6、総合計画の実施計画についてでございます。

この資料6の内容につきましては、すでに市のホームページでも公開しており、実施計画に基づく各事業内容と、令和7年度から令和9年度の年度別事業概要を記載しております。新たな総合計画の、今年度からの事業内容でございますので、先ほどの基本計画と併せて、今後、計画的に事業を実施してまいりたいと考えております。

以上、議題3「基本計画、重点テーマ・KPI(重要業績評価指標)について」、議題4「実施計画について」の説明とさせていただきます。

#### 【大和田会長】

ありがとうございました。

それでは、議題3「『阿南市総合計画2025▶2028』基本計画、重点テーマ・KPIについて」と、議題4「『阿南市総合計画2025▶2028』実施計画について」に関しまして、御意見を賜ります。

複数の質問がある方は全ての質問をまとめてお話いただき、その後担当部長から回答をお願いいたします。質問は事前に受けておりますので、始めに青木委員からお願いいたします。

#### 【青木委員】

はい、阿南防災士の会の青木でございます。よろしくお願いたします。

私の意見としては、3点プラスアルファあります。

まず1点目のハード面に関しましては、避難所体育館の空調整備率について、先ほど事務局から説明をしていただきました。防災活動をしていて一番言われるのは、「青木君、阿南市内に冷暖房がないでないか」と、もう何十年も言われてございます。これは厳しく、この総合計画審議会、また、西田副市長さんも出席されておられました県の南部地域政策総合会議等でも私は発言をさせていただいている次第でございます。これについてはしっかりと、市民に見えるプロセス、どこを何年度にするかというのを公表して欲しいです。でないと自分の地域はどうなっているのか、いつになるのかといった問い合わせが殺到して、どこまで言っているのかと迷うところも正直な感想でございますので、その点をハード面としてはしっかりとやって欲しいなと思います。

それともう1点、ハード面に関しましては、9月に、岩佐市長さんに初めて多機能型トイレカー、西日本で初めて平時も有事も機能するマルチパーパスモビリティ「マルモビ」を導入していただきました。つい先般9月14日にあった長生町での訓練時に初めて私も見学をさせていただきました。トイレ問題、語れば2時間喋らなきゃいけないので30秒で喋りますが、本当に市民の皆さんにとって、トイレ、衛生面の環境向上には絶対に必要なトイレカーであろうと思っております。1点、広く、市民の皆さんに、阿南市にはこれがあるんだということをしっかりと知ってもらえるところから、まず始めていただければと思います。是非とも私の防災活動の時にもお貸しいただけたらと思っております。

2点目でございます。2点目は、住民主体による避難所運営に関する視点でございます。これは、9月14日に「阿南市版避難所開設キット」を初めて使って、住民の皆さん50人に対して行ったという実績があります。大きく新聞や放送等でもさせていただきました。住民主体と

いう視点を、今後の避難訓練には私は入れていくべきであろうと考えてございます。総合防災訓練等の大きな訓練は当然必要なんですが、地域でやること、それが今からお話しする個別避難計画につながってくると考えてございます。

その流れで御説明をします。個別避難計画の策定割合です。現状 2.2%から 28 年度には 30%という非常に大きな目標でございます。だけどもですね、これも市長さんの所信でも書いていただいております。先ほど事務局から説明もありました。実は今年度、本市はですね、内閣府が実施する個別避難計画作成モデル事業に徳島県と共同で事業提案をしたところ、モデル事業団体として採択されています。つまりチャンスですね、今。だからこそ、これは地域共生推進課が、まさに介護支援専門員、ケアマネージャー等と、各事業所等の協定、また全体に対して郵送するといったことを促進していただいているというふうに考えてございます。是非ともこのソフト面に関しましては、内容は正直言うと簡易的な部分もあるんですけども、やはり目標、まずはうったてとしては非常にいいというふうに考えてございますので、またその辺、同じアドバイザーである金井先生からも御教授いただきながら、是非とも個別避難計画は本市としては 1 歩 2 歩じゃなくて 10 歩ぐらい一気に進めて欲しいなというふうに考えてございます。

最後 1 点でございます。最後もソフト面でございますが、やはり防災ともう一つ消防。消防の人材確保です。少子高齢化になってくると、人材確保がやっぱり僕は大事だと。で、特に専門性を有する防災や消防職の人材確保や養成について、何か本市として施策や取組、どのようにしているかというのも少しお伺いしたいし、逆にそれをもっと PR、私はするべきであるというふうに考えてございます。

で、最後の最後に PR でございます。各地域で防災訓練を行っています。実は今日、宮崎館長さんもいらっしゃいますが、11 月 23 日には新野、福井、橘で 3 町合同の広域避難訓練を実施予定でございます。是非ともですね、各地域単位、その地域地域における住民主体による防災活動の訓練等の推進を、行政として、計画としても推進していただければと考えてございます。引き続き防災行政の方もどうぞよろしくお願いをいたします。

#### 【大和田会長】

はい、ありがとうございました。

それでは、今の青木委員の質問に対する回答を、教育部長及び危機管理部長より順番にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

#### 【安富教育部長】

教育部の安富と申します。よろしくお願いいたします。

青木委員さんから質問ございました避難所(体育館)の空調設備についての御質問にお答えいたします。

先ほど事務局から説明がありましたように、市内小中学校のうち中野島、大野、宝田、長生小学校の 4 小学校において空調設備の実施設計を現在進めておりまして、まずはこれら 4 校について、令和 8 年度に整備を行う予定でございます。引き続き 8 年度も他の小学校の実施設計を合わせて進めるなど、2028 年度に目標値である 36%を目指しているところでございまして、令和 15 年度までに休校中を除く小中学校の全ての学校の空調設備の設置を目指してまいりたいと考えております。

また要望のございました市民に分かる形での公表ということについては、検討してまいりたいと考えております。よろしくお願いいたします。

【川端危機管理部長】

失礼します。危機管理部の川端でございます。

青木委員さんの御質問に、着座にて御説明、答弁させていただきます。

初めに、避難所開設キットを活用した住民主体の避難所運営訓練を市内各地で行って欲しいとの御質問についてお答えをいたします。まず、避難所開設キットとは、避難所開設までの手順を記したミッションシートと、開設に必要な資機材を保管箱の中に収容し、パッケージ化することにより、避難所に参集した誰もが躊躇なく実践することができるものでございます。本市では令和7年2月に阿南第二中学校で実施いたしました避難所開設運営訓練において、県が所有する避難所開設キットを使用した訓練を実施しており、今年度におきましても10月26日に羽ノ浦スポーツセンターで実施いたします避難所開設運営訓練時において、避難所開設キットを用いた訓練を行うこととしております。

また、先ほど委員さんからありましたが、9月14日に長生小学校で実施いたしました避難所開設キット活用訓練では、青木委員さんに企画立案から御協力をいただきながら訓練を実施したところでございます。御質問の避難所開設キットを活用した今後の予定でございますが、福井、見能林、大野、各地域において年度内に実施予定であり、青木委員さんにおかれましては防災減災危機管理アドバイザーとして引き続き御参加、御協力いただきますようよろしくお願いをいたします。

次に、専門性が必要な防災や消防職の人材確保や養成についての御質問に御答弁をいたします。防災士については、昨年の能登半島地震や、日向灘近辺での地震の発生以降、防災意識の高まりから多くの市民から資格取得に必要な講座の受講についての問い合わせが寄せられております。本市では、市民の方々から防災士の資格を取得するために、資格取得のための講習や試験日程の周知広報や各種手続きの補助等を行っております。

また、徳島県防災人材育成センターが資格取得に必要な講座として、徳島県防災士養成研修を年3回実施しておりますが、今年度の3回目は来年1月11日日曜日と12日の祝日の月曜日に開かれることとなっていることから、平日の参加が難しい会社員や学生の方にも受講しやすくなっているところでございます。

また、防災士の方々の連携とスキルアップを目的として、阿南市防災士の会を設立しております。現在は95の方が会員として参加していただいております。定期的に研修会を実施し、技能向上等の取組を行っております。災害対応等の専門知識を備えた方々が各地域の防災リーダーとなることは本市の防災力強化につながるものと考えておりますので、今後におきましても、あらゆる災害の場面に活躍できるよう、資格取得の支援を含めた防災リーダーの確保と養成に向けた取組を進めてまいります。以上、回答といたします。

【大和田会長】

ありがとうございました。青木委員さん、今の回答でよろしいでしょうか。

【青木委員】

2点だけ。

まず、空調設備は現行の小中学校に全部配備する計画という解釈でよろしいでしょうか。小中学校等の統廃合の問題等もあろうかと思うんですが、その点少し分かる範囲でお答えいただきたいのが1点。

2点目は、危機管理課さんに、トイレカー「マルモビ」の活用方法についても、分かる範囲で

御回答ください。

【大和田会長】

はい。それでは、回答のほう、担当部長さんからよろしく願います。

【安富教育部長】

先ほどの青木さんの御質問についてお答えいたします。

繰り返しになりますが、令和 15 年度までに休校中を除く小中学校、全ての学校の整備を目指しているところでございます。以上よろしく願います。

【川端危機管理部長】

危機管理部でございます。

トイレカーについては、今年度 2 回防災訓練を実施する予定ですが、それにももちろん活用いたしますし、各地域における防災訓練においても、また車両を持って行って周知等を含めた活用をしてみたいと考えております。以上でございます。

【大和田会長】

はい、ありがとうございます。青木委員さん、よろしいでしょうか。

【青木委員】

はい、ありがとうございます。

引き続き進めていただければと思います。御回答ありがとうございます。

【大和田会長】

それでは続きまして、兼松委員、願います。

【兼松委員】

阿南商工会議所の兼松と申します。

私は、商工業者の代表として出席させていただいておりますけれども、少し内容が逸れるかも分かりませんが、御了解をお願いいたしますと存じます。

まず基本政策 1、交通安全・防犯という点で、質問というよりは、要望・お願いになろうかと思っておりますが、お話をさせていただきます。

阿南市中心部への防犯カメラの設置に関してということでございます。私は現在、阿南警察署の指導により令和 2 年 3 月より富岡町内に設置した防犯カメラを運用する富岡商店街防犯カメラ運用委員長を務めております。年間に 10 回から 15 回ほど、阿南警察署の各課、また県警本部の申し出によりまして、防犯カメラの映像を確認できる端末パソコンを警察署に貸し出しており、年に数回は直接犯人検挙に結びつく映像提供により感謝されております。しかし、如何せん 10 台のカメラは屋外設置で風雨にさらされている関係で故障が多く、修理費に苦慮いたしております。言うまでもなく、防犯カメラは犯罪抑止、検挙に大きな効果がありますので、阿南市中心部の安心安全のため、公費による防犯カメラの費用、防犯カメラ運用を考えていただいております。

【大和田会長】

はい、ありがとうございました。

それでは、今の兼松委員の質問に対する回答を市民部長よりお願いいたします。

【山下市民部長】

市民部長の山下です。着座にて御説明いたします。

この度は地域の安全対策に関する貴重な御意見をお寄せいただき誠にありがとうございます。

防犯カメラを公費による、いわゆる市の管理において、中心部へ設置してはどうかという御意見でございますが、防犯カメラの設置は、犯罪抑止や防犯効果が期待される一方で、個人のプライバシー保護や監視社会への懸念に対する配慮が必要でございます。

1つ目の個人プライバシーへの影響として、防犯カメラは市民の行動を常時記録するため、公共空間でのプライバシー保護が重要です。記録が防犯目的以外で利用されない体制を整える必要がありますが、その安全な保障には技術的、運用的な限界があると考えております。

2つ目の市民への監視感情については、防犯カメラの存在によって監視されているという意識が広まり、心理的負担や地域の信頼関係への悪影響が懸念されます。

以上の理由から、市の管理による防犯カメラの設置は慎重に検討せざるを得ない状況でございます。

ただし、市民の皆様の御意見を踏まえ、地域の防犯パトロールの強化や情報共有体制の充実に努めてまいります。また、商店街組合、金融機関、事業所、ホテル等の商業施設、そして商工会議所といった民間の皆様と連携し、中心市街地である阿南駅周辺を中心に防犯活動推進事業も進めてまいります。今後も引き続き、御協力をよろしくお願いいたします。

以上、お答えといたします。

【大和田会長】

はい、ありがとうございました。

兼松委員さん、今の回答でよろしいでしょうか。

【兼松委員】

はい。今、山下部長からおっしゃっていただいたように、防犯カメラを設置するというので、今私どもが運用しております防犯カメラは、令和2年ということで5年前に設置させていただきました。すぐに設置できたわけではなくて、平成の終わりから防犯カメラがこれから大事になってくるということで調査研究させていただいて、阿南署さんのほうからの御紹介で、先進地であります徳島市の蔵本商店街、そしてまたローカルなところでは、吉野川市の鴨島商店街の調査をさせていただきました。商店街が設置するにあたりまして、実際に話して、商店街の組合員も「私いつもゴミ出しに行く時パジャマ姿のままなのに、映ったら恥ずかしい」とか、そういう問題もございまして、最初は当惑している会員の方もいらっしゃったんですけど、最後はもう時代の流れで仕方ないなということで御理解をいただきまして、阿南信用金庫さんの会社創立の周年事業の費用を捻出していただきまして、10台、富岡の中心に設置をさせていただいております。先ほどと同じ形になろうかと思えますけれども、5年が経ちまして故障とかも出てきております。

阿南市のほうで設置が難しいようであれば、阿南警察署さんのほうにもお願いはしてあるんですけど、修理とか電気代とか運営におきまして、これからももしも市で御援助いただけたところがありましたらお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思っております。

【大和田会長】

ありがとうございました。

そうしましたら御回答の方はよろしいということでしょうか。ありがとうございます。

事前に受けております質問は以上となります。

それでは、ここで議題の 3、4、新たな総合計画の基本計画及び実施計画に関しまして、委員の皆様から御意見をいただきたいと思います。時間の都合もございますので、お一人 3 分以内でお願いできたらと思います。

青木委員さんから、お願いいたします。

【青木委員】

はい。防災面に関してでございます。

パーセンテージ、先般、国の地震調査委員会のほうが、(南海トラフ巨大地震の今後 30 年以内発生確率について)1 月の時点では 80%程度だというふうに言っていたのに、ついこの間「60 から 90%以上」と「20 から 50%」という 2 つの算出方法で確率を出してきたんですね。いろんな災害においては今後も、そういったパーセンテージの数字であったり、また文言が出てきます。その度に、「じゃあこれどうなんだ」という市民の皆さんの疑問とか、また避難行動につなげるようなことは、やっぱり行政としては素早くアクションコードを出していただきたいと思います。最近、危機管理課さんのホームページはね、非常に早いんですよ。更新も早いし、また台風等の道路情報等、特に阿南市の GIS サービスを使って、避難所を開設してる、開設してないっていうのが。それぐらい、ホームページとか DX 化っていうのは進んでおりますので、若い世代等にも伝えるためには、やっぱりネットを使ったやり方、情報の発信の仕方、もちろん阿南市さんの LINE もそうです。阿南市さんの LINE も非常に僕は優秀だと思っております。徳島県が来るか、阿南市が来るか、どっちが早いかぐらいで災害情報が入ってピンコンピンコン鳴りますので、その辺もぜひとも精査していただければと思います。

【大和田会長】

はい、ありがとうございました。そうしましたら、小笠原委員お願いいたします。

【小笠原委員】

市の文化行政全般については、私は大変スムーズに、うまくいっていると思います。ただ、私、文化協会の会長として、文化協会でのいろんな事業をしようと思って、会費の値上げ等も考えてはいるんですが、資金がもう少しあったらいいなという声が多いです。特に文化祭の実行等に関わる経費で、もうここ 7、8 年、経費の補助金は上がっていない。できれば少し見直しをして、文化行政に関する補助金の増額を要望したいのが 1 点でございます。

もう一つ、文化行政等に関しては、前にも市長さんを通じてちょっとお願いはしたんですが、阿南市の駅前周辺の再開発計画っていうのが、今回は図書館のことでホットな話題をやっておりますけれども、それに加えてですね、文化財のいわゆる財産といいますか、それからそういうものを活用するためというので、実は今市民会館ですね、あれも取り壊しをする予定と聞いておりますけれども、市民会館の一部に文化財を阿南市のほうで管理をして保管しておりますが、取り壊したらどうなるのかという展望が全くございません。若杉山の整備計画も進んでいるんですが、ぜひ都市計画の中で、訪問者、特に県内外の方に阿南市の文化財とか文化行政の、そういう面も PR するために活用できる展示コーナーとか、そういういろんなものを、あ

る程度もっと活用しやすい、それから市民にアピールするような場所も都市計画の中にぜひ組み込んでいただきたいというのがあります、これは念願でございますけども、今回の報告書には、その点は具体化は一つもございませんので、ぜひそういうことも考慮していただきたいと思います。

【大和田会長】

はい、ありがとうございます。金井委員お願いいたします。

【金井委員】

はい、金井です。私は、基本政策1の防災・消防、復旧・復興対応の事前準備に関して発言させていただきます。

事前復興計画策定中というところがございますが、早急に策定されて、イメージトレーニングを通して、PDCAをどんどん回すべきだと思います。今、能登でも復興まちづくりの議論が行われているところでありますが、やはり震災前から進んでいた人口減が震災をきっかけに急速に加速化して、復旧が難しい状況になっています。また、住民同士、住民と行政との合意形成も難しい状況のようです。

やはり、事前復興計画とイメージトレーニングは阿南市にとっても非常に重要で、今こそやるべきことだと思います。そして、イメージトレーニングには、やはり女性の参画が非常に重要で、男女共同参画を推進する阿南市にとっても、こういうところから特徴を出していけると良いと思います。

先般、橘小学校で避難所に関する勉強会を先生方と一緒にさせていただきました。来月には、5、6年生の児童と一緒に勉強をする計画があります。そういった取組を通じて思うのは、阿南市の子どもたちは非常に素直で、元気。先生方も非常に熱心でおられ、阿南市の非常に貴重な人材、宝だと思います。現在の小学生は未来の、10年後の大人でありますから、小中学生、高校生、高専生を対象に、事前復興計画のイメージトレーニングをどんどん進めてPDCAを回していくことを提案したいと思います。

【大和田会長】

はい、ありがとうございます。それでは、次ですね、兼松委員お願いいたします。

【兼松委員】

先ほど意見も言わせていただきましたので。

【大和田会長】

分かりました。

そうしましたら、次、紅露委員お願いいたします。

【紅露委員】

はい。私は普段思っていることを述べさせていただきます。

この計画、すごく立派に、細かいところまで計画されていて感心しました。いろんな面で、市の職員の方々が普段細かいところまで注意されて生活、仕事されてるなということを思いました。

私たち地域で住む者にとって、地域の消防団がすごく少なくなって困っています。いざとな

れば、やっぱり地域のことは地域だと思うんです。だから、地域の消防団、市の消防じゃなくて、昔はたくさんおられたと思うんですけれども、その消防団員の方たちが、勤め人が多くて、地域で商売なされてる方も少なくなって、人材も少しずつ少なくなっていったらしょうけれど、各地域にそういういざとなった時に、婦人会も頑張りますけれども、そういった助けていただけるような消防団員がおいでなのかなっていうことを思います。

それと、この間、桑野では夜、イベントをしました。その時に先ほどお話が出たように、ライトね。運動場が明るくなってよかったな、これだったら子どもたちも、また大人たちも夜に歩く人がたくさんいるので、その人たちにも助かるなって喜んでおります。

また、私たちが普段車で走ってる時に、地域で本当に壊れかけてる家が何軒かあります。計画の中にも空き家対策とか、いろんな方策出していただいているんですけれども、本当に壊れかけ、もう潰れかけているんですよ。そういうのが地震が揺った時には、車を運転する人とか、それから歩行者、自転車とか、心配ないのかなっていうことを思っております。

それと、桑野川は大分土砂が溜まっております。私たちの地域、桑野も、ちょっと大雨が降ったら水が溜まって、家の前なんかは通行止めになったりします。だからそういう土砂もどうにかしていただけないのかなって思うのと、もっと細かいことを言いますと、草がたくさん生えてて、木も生い茂ってて、展望が悪くて見通しも悪くて、車の衝突防止センサーが反応してピーピー鳴るといようなことも普段感じております。

もう一つ、私は県へ行った時に、阿南市の紹介として「光のまち、野球のまち」っていうのを大きく言っております。野球のまちは、球場はもう満杯で次々とあるみたいなんです。だからあの環境、花を植えたりっていうのには協力させていただいているんですけれども、光のまちの場合、どこへ案内すればいいのかなと思っています。牛岐城にはあるというんですけれども、案内するほどあるのかなって思っております。

それと、観光で、阿南市で、どこかここだけは連れて行ってあげたいなっていう場所があればいいなと思います。

それから、先ほど小笠原委員がおっしゃったように、あっちこっちに、昔の宝物、そういうのがバラバラに、例えば福井の方にもそういう場所がありました。それから、公方さんのところにもありました。そういうのを1箇所に集めて、阿南市にはこういう文化財が今も残ってるんだぞっていうような場所があればいいなと思ったりしております。

#### 【大和田会長】

はい、ありがとうございます。それでは、坂本委員お願いいたします。

#### 【坂本委員】

坂本です。よろしくお願ひいたします。

私は普段、まちづくりのいろんなプロジェクトに関わっておりますけれども、阿南市においては特に自然共生ですとか、生物多様性に関わるプロジェクトの仕事をさせていただいております。その中で思いますことが、人口減少社会の中で、阿南市が選ばれるまちになっていくためには、やっぱり全国、自然が劣化していくという中で、今ある阿南のこの豊かな自然をどう残していくかということはとても重要なことだと思っております。その自然というのは、海や川、そういう自然環境だけではなくて、美しい緑と重なる住環境ですとか、農地ですとか、いろんなところに波及することだと思っております。

計画の中で、1点だけ。基本政策1で、自然環境に関するKPIの項目が出ており、「暮らしの中で生物多様性保全に配慮した行動をしている市民の割合」というものが挙げられていま

す。高い数値で目標が掲げられていることは、今までなくて、すごい画期的な、前向きな計画で、ありがたいと思っています。

その「配慮」についてなんですが、アンケートを予定する中で、この配慮が、どんな配慮をすることなのかという、その配慮の項目をあらかじめ準備した上で、政策を打っていくほうが、効率的だと思います。生物多様性に関する正しい配慮、みんな分かるでしょうか。

その正しい配慮を学ぶ場についての意見なんですけれども、生物多様性は地球温暖化と同じように重大な課題で、なかなかこう身近に感じられないところもあるんですけれども、一方で外来種の増加ですとか、竹林の繁茂ですとか、以前いた生き物が身近なところからいなくなっているっていうのは、皆さん本当に身をもって感じられていると思います。世界で言うと1日に100種類もの種が絶滅していています。本当に地球温暖化と同じように重大な課題なんですけれども、なかなかそれに私たちはどう配慮すればいいのかっていうのは理解できにくいことだと思います。

そこで、阿南市には科学センターがあって、そこを拠点とする理科学習ができるという非常に恵まれた環境がございます。生物多様性はサイエンスの学習なんです。教科書では伝えきれない地域の自然だとか生き物に関する学習を、科学センターを拠点に担って進めていただけたらなと思っています。

科学センターではですね、私も子どもがおりますけれども、毎年夏にサイエンススクールっていうのをやっております、そこで植物採集や昆虫採集を夏休みの宿題でできるというのがあるとは思いますが、実は今年、それができていませんでした。私はすごい残念だなと思っています。生物多様性に関する生き物の専門家をぜひ科学センターに置いていただいて、そのようなイベントもですね、継続していただきたいですし、生物多様性の配慮ができる正しい知識を持った子どもたち、そして市民を啓発していけるような、そんな場になっていただきたいなというふうに思っています。

【大和田会長】

はい、ありがとうございます。それでは、下川委員お願いいたします。

【下川委員】

はい、下川です。よろしくお願いいたします。

私は基本政策3の学校教育のところ、私の地元の小学校も、昨年末からグラウンドの照明をLED化していただきまして、とても児童も地域の方も喜んでおります。ありがとうございます。引き続き、グラウンドの照明化を進めていっていただきたいと思っています。

そのグラウンドの照明を進めていくと同時に、温暖化現象で、プール授業であったりですとか、夏休みのプールの解放ができない学校が増えていまして、私の学校も今年度はプールの解放をやめました。やめた理由は、高温で藻が発生して去年はできなかったのと、計画を立てて、見守りの人が予定を開けていても、暑すぎて開催ができないっていうところで負担が大きいということで、今年度は中止にしました。その代わりに、LED化していただいてグラウンドが明るくなったので、夏の催しとして、夜の6時半から8時半まで、くじ引き大会、そして逃走中っていう鬼ごっこみたいな遊びなんですけれども、それと水鉄砲の撃ち合いっていうことをやりまして、ほとんどの児童に参加していただいて好評でした。

ただ、プールを解放できない代わりにということであったんですけども、中にはやはりプールをしたいと、夏休みもプールをしたいっていうお声もありまして、そういったところで、熱さ対策で空調整備とか、こういうふうに基本計画はなっていますので、プールについても今後どうい

うふうにしていくのか、修繕しながら使っていくのか、それとも民間に委託するのかとかも、私たち保護者に分かりやすいような発信をしていただければと思います。

【大和田会長】

はい、ありがとうございました。それでは、鈴江委員お願いいたします。

【鈴江委員】

8年前に、阿南の駅前に大学の支局を開設した時に、友人が大きな観葉植物をプレゼントしてくれました。最初は鬱蒼と生い茂っていたのですが、だんだん葉が少なくなって行って、色も褪せてきて、去年ぐらいだったかな。開設でくれたやつがダメになったら、もううちの事務所もダメかなと思ってたんですけど、思い切って茎を切って、古い根を掘り起こしたら土の中に腐った根がいっぱいあって、それを引っ張り出したら、みるみるうちに再生して、茎の間からいっぱい新しい芽が出て、今、かなり元の状態に戻っているんです。それを見て、まさにこれ、公共施設の再編、削減の効果と同じではないかと思ったんです。行財政改革も同じだと思います。長年生い茂ってきて勢いのないものをばっさりきちんと剪定することで、新しい芽も出てくるということを感じました。

総合計画でも、人口減少社会の中で「戦略的に縮む」ことを掲げておられます。私の所属する大正大学の小峰先生が「賢く縮む」ということで各地で講演もなさってるんですけど、岡山県美咲町長さんの話を聞く機会があったんですけど、そこも「賢く縮む」ということをまちづくりの看板に掲げて、公共施設を大きく削減し、住民の理解がなければなかなか削減はできないので、住民がそのことを話し合ったりする「小規模多機能自治」というのを実践されています。それぞれ各地域で住民の方が集まって、公共施設とか地域の課題とかを話し合うような仕組みで、うまくいっていて、注目されているようなんです。

ですから、「わがまち予算」とかについても、地域でイベントをすとかもいろいろ大切ですけど、地域で自分たちが将来について話し合う組織づくりなどを「わがまち予算」でやっていくっていうのも一つの方法かなと思いました。市民の方にも、公共施設の削減が負のイメージではなく、これをするによって次の新しい芽が出て、新しい時代が始まるみたいな期待を持たせるような推進をしていくことが、総合計画の実施計画を着実に推進していくことにもなるかと思います。

【大和田会長】

はい、ありがとうございました。次に、田中委員お願いいたします。

【田中委員】

阿南支援学校校長の田中と言います。

先ほどから学校関係で、体育館が避難所となるとき空調設備について話が出ていますが、本校は県立ですが、今年度7月に体育館の空調設備が設置されまして、7月から活用できております。体育館に空調設備ができることで、避難所としては安心なんですけど、現在、熱中症警戒アラートが毎日出るぐらいの状況で、なかなか体育の授業が十分できないということもあって、グラウンドに出ても暑いし、体育館の中も暑いしということで、それまでは時間を縮めたり、教室内でできる活動をしたりということでやっていた体育が、体育館でできるようになっています。これも、教育保障、学習保障という意味ですごく大きな意味があって、体育館の空調を各校にできるだけ早く設置してあげると、そういった運動の機会を子どもたちに保障で

きるという意味でも大事だと思っています。それから、体育館は広さがありますので、研修会だったり、皆が集まって活動するときも、これまでは夏の体育館は暑いのでできないだろうと言われていたイベントも体育館でできるということで、活動の幅が広がると感じておりますので、阿南市内の小中学校の空調設備もできるだけ早くなされると良いなと思いながらお話を伺っておりました。

それから、避難という意味では、災害時には本校も避難所に指定されておりました活用いただけるかなというふうには思っています。ただ、支援学校に通う子どもたちは、どこでも避難できるわけではなくて、慣れた場所である必要があったりとか、声が出たり不思議な行動をしたりということもあつたりしますので、皆と一緒に避難をするということが難しい部分もあります。そういった場合を考えると、支援学校に通う子どもたちを優先で避難場所として活用できたらありがたいかなということで、教室等は子どもたちのために空けておきたいなというふうには思っています。

それと同時に、全員が学校に避難できるわけではないので、各避難所にも、いわゆる被災時には弱者といわれる障がいのある子どもたち、そのご家族が安心して避難できるようなことも、避難計画の中に考慮いただけたらありがたいかなと思います。例えば、個室が用意されているとか、衝立等で空間が保障されるとか、そういったことも一つかなと思うんですけども、被災された地域の方々を参考に、私たちも考えていかなければいけないなというふうには思っています。

実際に、能登が被災されたときは、障がいのある子どもたちが車の中で何日も過ごしたという話も聞きますので、なかなか車の中で家族全員がずっと暮らすということにも相当の不自由があったらだろうな、精神的にも大分きつかったんだらうなということが想像されますので、そういったことも視点に踏まえた防災計画を検討いただけたらありがたいかなというふうには思っています。

小中学校については人数はだんだん減ってきているという状況なんですけど、特別支援学校のほうは逆行して、どんどん増えていて、毎年人数が増えていっているという状況です。それだけ支援が必要な子どもたちが阿南市の中でも各地域に増えていっているということを御理解いただいて、そういった視点の防災計画をお願いしたいと思っています。

【大和田会長】

はい、ありがとうございます。それでは、中川委員お願いいたします。

【中川委員】

消防団団長の中川です。

消防団の人数についてご心配いただきありがとうございます。かつては1,500人の団員がおりました。規約の中で、今までは退団入団の年齢がございまして、今までやってきたいただいた先輩方が、団員を増やさなければいけないということで、いろいろな取組をしてくださいました。そうした取組により、当時私が入ったときには40歳までしか入団できなかったのが今では50歳まで引き上げております。それから、退団の年齢も当時の60歳から65歳に引き上げております。また、各地域の消防団員も団員を増やすためにそれぞれ努力していただいて、頑張っていたいておりますので、今は14団体68班で、定数が1310人となっております。また、お近くの若い方にお声がけなどしていただけたら嬉しいかなと思っています。

また、県と消防協会が主催で、消防団と共に親子で学ぶ宿泊型の防災キャンプということで、年に2回、いろんなどころで実施しております。この10月には、椿のYMCAで実施する予

定でございます。すでに満員で希望者もかなり多いという状況です。

また、大きな公民館等には AED が設置されておりますが、小さな集会所などは市の管理でなかったりするので AED が設置されておられません。なかなか難しいとは思いますが。以前、危機管理の川端部長にも相談させていただいたんですが、「避難してください。」はいいいんですが、そこに AED の整備がされていない。なかなか個人から「置いてはどうですか。」とは言えないので、できるなら市のほうから、各地域の協議会や自治会の会長さんとのお話の機会があるのであれば、AED の設置についても投げかけていただけたらいいかなと思っております。

【大和田会長】

はい、ありがとうございます。それでは、中野委員お願いいたします。

【中野委員】

水産振興会の中野です。

漁業に関しては、種苗放流だけをしてもらっても、海藻とかがないので育たないんです。育つ方法をもう少し考えていただかないといけません。種苗放流だけ増やしてもらっても、あまり意味がない。海藻を食べる魚とかウニとかが増えてきているので、その上に栄養分がないっていうところもあるので、今回、日亜化学工業さんが栄養分を補充してくれていますが、あれでもまだまだ足りない。何倍、何十倍も放さないことには栄養分は復活してこない。そういう方法をもう少し考えていただけたらありがたいと思います。

【大和田会長】

はい、ありがとうございます。では次、新居委員お願いいたします。

【新居委員】

新居と申します。よろしくお願いいたします。2 点お話しさせていただきます。

阿南支援学校の田中校長先生もお話をしてくださいましたが、防災のほうで、支援が必要な人たちや高齢者の方たちが避難できる場所は、一般の避難所では無理だということ、去年この場で同じこととお話ししました。今回、避難行動要支援者への文書郵送というのを見まして、早速動き出してくれたのかなと光が見えてきました。なので、これを予定ではなく、なるべく急いで皆さんに郵送していただけたらありがたいなと思いました。

もう 1 つは、体育館へのクーラー設置についてですが、メリットやコストバランスとかもあるので、簡単にはいかないとは思いますが、体育館の屋根にソーラーパネルを設置してはどうでしょうか。山林への設置が最近、森林破壊とか自然環境への影響があるというふうに言われておりまして、遊休地の活用ということを考えますと、まさに、屋根が利用可能なスペースではないのかなと思ひまして、もし、電力が供給されなくなった時、クーラーがあっても使用できるのかなと考えたときに、ソーラーがあればクーラーを使用できるかもしれないという浅はかな考えかもしれませんが、そう考えております。日当たりの条件とか、重量に耐えられるか、初期費用が高くて採算がとれないというケースもあると思いますが、少しでも考えてくださればいいなと思います。

【大和田会長】

はい、ありがとうございます。次、原田委員お願いいたします。

#### 【原田委員】

私のほうからは何点かお願いをさせていただきます。

まず、基本政策2の工業についてです。市内主要企業で働く従業員数の目標値、及び企業誘致等とは深く関係しています。従業員数の目標値1万人となっていますが、この数値は市内外すべて含むものと思います。今後、企業誘致については、更に御努力をいただきまして、新しい企業が来ていただければ、新規学卒者の選択の幅も広がることで、市内に留まる可能性が高くなるのではないかと思います。併せて中高年齢層の就労対策も支援することで、本市が豊かで活気のあるまちづくりにつながっていくと思います。

2つ目は、基本政策4の人権についてです。講演会、研究大会等の年間参加延べ人数の目標値1,805人、どのような方々が参加しているのかということです。私が知る限りでは、大半の参加者が固定化しています。進捗状況にも書かれてますが、今後において、幅広い市民の方が参加したい、行ってみたいと思える企画内容を御検討いただき、一人でも多くの方が学べる機会を提供していただきたいと思います。

3つ目は、基本政策5の観光についてです。スポーツイベント等について。阿南市と言えば野球のまち、最近ではサップもありますが、まだまだ一部の市民の盛り上がりのように私自身は感じております。そこで提案ですが、全ての世代間で誰でもができるスポーツとして、現在広がりつつある障がい者スポーツでも有名な「ボッチャ」などを、もっともっとPRしていただき、市としてイベントや大会などを企画してみてもどうでしょうか。人権の先進地としてこれまで他の市町村の先導的役割を果たしてきた阿南市としては素晴らしいことではないでしょうか。

#### 【大和田会長】

はい、ありがとうございます。それでは、宮崎委員お願いいたします。

#### 【宮崎委員】

阿南市公民館連絡協議会の宮崎です。

基本政策6のコミュニティ、「わがまち予算」について発言させていただきます。今年はモデル事業を実施して、来年度から本格実施ということで大変期待しております。14の公民館にとって自由度の高い補助金とのこと。担当課の企画政策課さんには14の公民館を回り説明いただいたり、公民館長が集まる会にも来ていただいて質疑・応答していただき大変ありがたいです。ただ、補助金が支給されるということはいろんなところで書かれていると思うんですが、私が思うのは、大切なのは、その補助金をまちのためにどう活用していくかという話し合い、プロセスが大事だと思います。そうすることで、地域の住民の自治能力を高め、連帯感を深めるということにつながるし、新しいまちづくりやまちの課題解決のきっかけになりうるものだと思っています。その補助金がこういう制度設計でやりますよということが確定したら、早めに教えていただき、14地区それぞれで議論する時間を与えていただきたい。すぐに申請出してくださいということでは、なかなか協議する時間もとれないので、少し長めにお時間を与えていただいて、それぞれのまちでもしっかりと議論を深めることこそが、この「わがまち予算」の真髓に迫りうるのではないかと考えております。

そして、さらに「わがまち予算」については、各公民館長さんからも御意見をいただくのですが、2028年度に14の公民館で実施できるようになったら終わりというのではなくて、持続可能な予算化をしていただいて、継続してまちづくりに活用するものであっていただきたいと思っています。

【大和田会長】

はい、ありがとうございます。宮田委員お願いいたします。

【宮田委員】

今回初めて参加させていただきました宮田です。基本政策1の循環型社会についてです。

先般、政府のほうからも各自治体に要請があったかと思うんですけども、いわゆるモバイルバッテリー、リチウムイオン電池の回収の仕方についてです。各自治体に任されていると思うんですが、通常のもは、大型の電気屋、量販店とかで引き取ってくれるそうなんですけども、少し膨らんでいるものは破裂の恐れがあったり、衝撃による爆発の危険性がともなうので、量販店でも引き取りができない。一度、市役所に問い合わせさせていただいたこともあるんですが、そのときは専用の機関を紹介はしてくれました。で、そこへ連絡して、状態を伝えたら、各メーカーに相談してくださいという回答で、メーカーに電話すると音声案内で、該当する番号を押してくださいと。でも該当する番号といってもそれらしい番号もないし、結局どうしていいのかわからず、今もまだ私の家の中にあります。

このようなことは私の家だけではないと思うんです。不法投棄される可能性もありますし、人命にも関わってくることなので、できれば阿南市で一括して引き取っていただけるような、あるいは、それができなくても、処理の仕方を指導していただけたらと考えておりますので要望としてお願いしたいと思います。

もう1点、この基本計画の企画書、事細かく書かれておりますが、西暦と和暦が混在しているので、どちらかに統一していただいた方がずっと入ってくるのではないかなと思いました。

よろしく申し上げます。

【大和田会長】

はい、ありがとうございます。それでは撫養委員、お願いいたします。

【撫養委員】

私は民生委員として独居老人宅の見回りをしていますが、よく言われるのが、「隣が空き家で、いつ家が倒れてくるかわからない、地震が起こったときには家が倒壊して逃げられなくなる。なんとかしてくれんדרるか。市にも言うてくれ。」という要望が随分多いんです。確かに、少子高齢化の影響で空き家がものすごく増えています。空き家対策っていうのが市としても頭の痛い問題かなと思うんですけども、その難しい課題を、なんとか少しずつでも前に進めていただけたらと考えております。

【大和田会長】

はい、ありがとうございます。八原委員お願いいたします。

【八原委員】

私からは、基本政策2の農業についての話です。

これから少子高齢化に伴いまして農業の担い手がだんだん減ってくるという状況にあります。広大な農地を維持している阿南市におきましては、この農地をいかに保全していくのかが非常に大きな課題であると考えております。その中で計画で農業者の確保と補助事業を活用した農業者の育成といったところを記載していただいているかなと思います。さらに、農業施

設関係の修繕・維持ということで、市として数値目標を設けて、農業の施設、生産基盤を整備していくという意思表示にもなっているのかなと思っております。農業者の確保・育成、そして基盤の整備が非常に重要なポイントになってくるのかなと思っておりますので、今後、この数値目標の達成に向けて市として全力で取り組んでいただけたらと思います。

また、小中学校の再編統合が進んでいます。施設の統合は、今後進んでいくんだろうけど、施設がどのようにして改修されていくのか、建て替えられていくのかということが保護者目線ではあまりよく分かりません。どの時点でどこの学校が建て替えられるとか、再編されていくのか、学校の統廃合計画のスケジュールというところが、市民にとって、もう少し分かりやすい形で表していただけたらなということが1つ要望であります。

【大和田会長】

はい、ありがとうございます。米田委員よろしく願いいたします。

【米田委員】

阿南市社会福祉協議会 の米田でございます。立場上、福祉について語るべきところではありますが、以前私も地域医療に多少なりとも関わったことがありますので、今日はこの点について発言をさせていただきます。

基本政策4の医師確保数についてであります。資料に記載されておりますように、現状値と目標値が同数の9人となっております。また資料6にもありますが、阿南医療センター内に設置された徳島大学の寄附講座で運営される阿南地域医療教育センターの経費の一部を南阿波定住自立圏事業に基づく補助金で支援をされております。現状維持を図ることも目標の一つであるかもしれませんが、阿南医療センター全体の医師の数は果たして増えているのでしょうか。阿南地域医療教育センターの設置から5年が経ちましたが、医師を育て若い医師が来る病院をつくることについて、これがつながってきているのか、検証していく必要があると思っております。

医師の数が増えることによって医療センターの診療体制の充実はもちろんです。将来的には市内の公立の診療所、また定住自立圏内の町立診療所にも医師の派遣ができるような仕組み、こういった構築を見据えることも地域の基幹病院、公的病院としての使命であると考えております。そしてこのことが、寄附講座にかかるサポートを阿南市が定住自立圏の事業として実施する大きな意義であると思っております。簡単なことではありませんが、補助金による支援や要望活動、病院間連携の推進等を通じて、行政としてできることに引き続き取り組んでいただきたいと考えております。

【大和田会長】

はい、ありがとうございます。片山委員お願いいたします。

【片山委員】

公募委員の片山です。私も米田委員さんと同じような意見を考えておりました。

阿南医療センターの医師不足についてすごく心配をしております。医療センターに私も定期検診とか度々行くんですけども、ものすごく先生方、看護師さんもよくしていただいて、いいんですけども、口コミであったりとかそういうのが、ちょっと悪い意見とかも出てきています。そういうのを払拭するために医療センターのほうも、病院祭りであったりとか、コンサートやマルシェを開いたり、地域に密着した医療センターであるというのをアピールしていただい

るようなんですけれども、本当にこの医師不足、徳島県では色々な補助制度があるんですけれども、その徳島県の制度を活用しても、阿南市にお医者さんが来てくれるのかっていうのが確実でないので、何か阿南市に、奨学金とか、阿南市の医師になってくれたら住宅援助とか何かそういうようなものがないかなっていうのを考えていました。

それと、皆さんがおっしゃられたように私たちにとって、防災が一番今、関心事というか、新聞紙上でもあると思うんですけれども、前回のこの会でも言わせてもらったように障がい者の家族であったり、女性、妊婦さんであったりとかの、避難所での専用ブースを作っていただきたいと言いました。それがもちろん計画に入っているのかもしれませんが、それが見える形で、こういうのもする予定ですっていうのを市民の方々に情報を提供してあげたら安心するのではないかなと思います。

プラス、私は自治会の会長をしております、避難訓練をしても、元気な方しか出てきてくれません。ですので、その出てきてくれない方々、高齢者の方々、一人暮らしの方々に私が何か防災のことを教えようと思っても防災士の資格はありません。現役ですので仕事をしている関係で防災士の勉強に行く機会がございません。ですので、防災士という肩書きは要りませんが、簡単なことを教えていただける勉強会、地域の方々に生かせる勉強会を開催していただければと考えております。よろしく願いいたします。

#### 【大和田会長】

はい、ありがとうございます。では、前川委員よろしく願いいたします。

#### 【前川委員】

今回初めて参加させていただきます。市内で一企業で働いております前川と申します。

私は全く予備知識もなく、ただ興味本位で応募してみました。で、ちょっと中身を色々聞かせていただいていたので素直な感想ということで、一般素人市民から、市民感覚なんですけど、すごい分かりにくいなと資料を見て思いました。

計画があって、それで目標がある。目標に対して何をやるのかっていうのはちょっとよく見えないなと思いました。もうちょっと分かりやすくすればいいのかなと、素人ながらに思ったのを率直な感想で言わせていただきます。

また、先日、私の義母が行方不明になりまして、消防の方、警察の方にお世話になりました。その時に思ったのは介護とか本当に苦労しました。そのときは、放送していただいて、たまたま見つけていただいたんですけど、やっぱり介護とかは本当に大変で、もう精神的にきていたんです。で、計画の中身を見ると高齢者の対策ってあんまり入っていないような気がしました。今後必ず介護とか高齢者増えてくると思うんです。それで、絶対に家族の者が本当に追い詰められる状況になってくると思います。私たちがそうだったので、そういう方面で何かないのかなとちょっと探してたんですけど、あまり見られなかったんで、そういうのも考えていただけたらなと、率直な意見として述べさせていただきます。お願いします。

#### 【大和田会長】

はい、ありがとうございます。委員の皆様、貴重なご意見をどうもありがとうございました。

最後に、私からも意見を述べさせていただきます。

私、阿南高専に参りましたのが半年前で、まだまだ阿南について知るべきところを知っていないというような者が言うのもなんなのですが、今まで皆様の御意見を聞いて、阿南市も様々なことに取り組んでおられますが、なかなか市民との意見のやり取り、公表して意見を聴取し

て、またそれを生かしていくようなところで、情報の発信力っていうのがもう少しあったら、市民の理解も得られて、活気のある阿南が実現するのではないかと、個人的な意見ですけども思いました。

それと内側の対策だけではなくて、もちろんこれはやってらっしゃるとは思うんですけども、他府県とか他市町村の取組とか、それから海外の取組とか、そういうような外側で行われていることをいかに阿南にうまく持ってこられるような面があるのかな、どうなのかなというふうなところも考えていただいたら、ちょっと面白い取組とか、それから解決できるような糸口があるのかもしれないと思いました。

私は阿南高専に勤めておりますので、やっぱり若者の力っていうんですかね、それを信じていすし、それから理系人材の育成っていうところにも高専として、ぜひとも御協力させていただきたいと思っております。情報化社会にありまして、基本的に情報っていうようなものをどういうふうに小さい頃から学んでいくのかようなこともとても大切ですし、そういうところを阿南高専の教員とか、それから非常に力のある発信力となる学生もおりますので、そういう学生も教職員ももっと外に出て、阿南市のいろんな公共施設ですとか学校等に飛び込んでいって、いろんなイベントあるいは教育とかそういうところに関わらせていただいて、より良い社会を作っていけたらなというふうに思っております。

阿南高専の場合には、農業とか漁業とか、それから企業様が抱えているような問題とか、そういうようなところにも是非とも課題を提供していただいて、一緒に考えていきたいというふうに日頃から思っておりますので、今後とも阿南高専もよろしく願いますということを皆さんにお伝えしたいと共に、阿南高専の持つ教職員、そして何と言っても学生の力ですね、こういうようなものを阿南市にも発信していって、より良いものにつなげていきたいと心から思いました。どうもありがとうございます。

#### 【七條企画政策課長】

大和田会長、ありがとうございました。

委員の皆様からも大変貴重な御意見、御提言ありがとうございます。

いただいた御意見は会議録を作成し、阿南市ホームページに公表させていただきまして、検討して取り組んでまいりたいと思います。

それでは、閉会にあたりまして岩佐市長から御礼を申し上げます。

#### 【岩佐市長】

冒頭も御挨拶もさせていただきましたけども、着座で、御礼と、御意見いただいたことへの感謝を含めて少しお話をさせていただけたらと思います。本日は大変貴重な時間になりました。

それぞれに委員の皆さんから御意見とか御質問をいただきまして、それも多岐に渡るものでありまして、いただきました御意見に対しましても、しっかりと各部で取り組めることは、しっかりと実現してまいりたいと思っております。

その中で、冒頭も申し上げたことにはなるんですけども、阿南市もやはり今、人口が大きく減っているっていうのが一番大きな課題だと私は認識をしております。それによって、当然産業も縮んでいく可能性もありますし、当然、市内での消費も縮んでいってしまうということもありまして、いかにその人口減少を抑えていく対処策と、そして対処策だけではなくて、その人口規模にあった形でいろんな施策をやっていく適応策の両面が必要だと思っております。

その中でやはり、人口は増加局面じゃなくて、これから先ずっと減少していってしまうので、

その対処策でいかに減少幅を抑えていくのかということも必要でありまして、そのためにも、すぐにでも取り組まなければ、まちの魅力もそうなんですけれども、就労の場所、教育、子育ても含めてですけれども、阿南市でそうした人口増につながるような施策は早急にやらなければならないところもありますし、片や、当然、防災の観点についても、いつ発生するか分からないということもありますので、できるだけ早い対策が求められていると思っております。

しかしながら、その人口減少局面というのは変わらないというところもありますので、阿南市全域をしっかりと見渡しなが、地区地区のいろんな特性も違う中で、この総合計画の冒頭、長期ビジョンの中にも書いてありますし、鈴江委員さんからもお話もありましたけれども、戦略的に縮んでいかなければいけないところもございます。その中で、いろんな集約等々ですね、一方では市民のニーズというのはどんどん多岐に渡っている中で、一方では縮まなければいけないということが発生をしてくる中で、鈴江委員さんからもあったんですけども、その集約をしていくことで、また新たなものが生み出せるっていう前向きな発想というの、しっかりと打ち出していかなければいけないなと思っております。

最後、大和田会長からもお話いただきましたけども、この総合計画の、例えば進捗の状況なんか、しっかりと市民の皆さんに情報発信をして理解をしてもらうことが、やはり何よりも必要なことなんだなと思っておりますので、この度いただきました内容、しっかりと精査をさせていただきます。今後の阿南市の市政運営にしっかりと生かしてまいりたいと思っております。どうもありがとうございました。

**【七條企画政策課長】**

それではこれもちまして、令和7年度総合計画審議会を終了させていただきます。  
皆様、ありがとうございました。

(15:30 終了)